

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業の進捗状況について

- 1 (仮称)町田市立国際工芸美術館整備工事等における
 コンストラクションマネジメント(CM)業務の進捗状況について【別紙】
- 2 Future Park Labの実施について
- 3 市立博物館主催の体験講座の実施について
 について報告します。

2 Future Park Lab の実施について

芹ヶ谷公園パークミュージアムの将来の姿をみんなで想像・創造する企画、「Future Park Lab 2023 Winter」を2023年12月16日に及び「Future Park Lab 2024 Spring」を2024年3月2日に実施しました。

(1) 「Future Park Lab 2023 Winter」の実施

ア いつもの公園を気球に乗ってみよう！

彫刻噴水や多目的広場を上から見下ろす等、普段できない特別な体験を提供しました。人気が高い企画で、多くの人が芹ヶ谷公園に足を運びました。

イ 芹ヶ谷公園で雑木林遊び！

冬の生き物観察や、雑木林の中で落ち枝等を使った秘密基地づくりを行いました。最後には自分で作った秘密基地のみどころを描いて発表しました。

ウ 「芹ヶ谷まんがめぐり」と SNS フォトコンテスト

まちだゆかりのアーティストが、まちなかのオブジェ等を描いたまんがのひとコマを園内に展示しました。園内を散策しながらまんがを巡り、まんがに描かれたスポットを実際に見にまちなかを巡って頂く企画です。同時に SNS を使ったフォトコンテストも開催しました。

その他、落ち葉や花、端材等を活用した工作コーナーや、さがまちコンソーシアムによるここまちベースとの連携企画等も行いました。

[Future Park Lab 2023 Winter 当日の様子]



いつもの公園を気球に乗ってみよう



芹ヶ谷公園で雑木林遊び！



“みどりのおとしもの”で工作しよう！



ここまちベース連携

芹ヶ谷公園でクイズの答えを探し出せ！

博物館

ペーパークラフト



芹ヶ谷まんがめぐり



(2) 「Future Park Lab 2024 Spring」の実施

ア ライトアップコンサート&ランタンで公園に明かりを灯そう！

玉川大学が手掛けたライトアップに合わせて、笙のコンサートを行いました。同時に市民の方が桜を描いたランタンをもってライトアップに参加し、コンサート終了後に空に向かって皆でランタンを高く浮かばせました。

イ 玉川大学 MOKURIN プロジェクト・Nature Factory 東京町田連携企画

間伐材等を活用した焚火や防災メシを作る体験や、玉川大学の樹木活用等の取組である MOKURIN プロジェクトと連携したワークショップを開催しました。

その他、町田ゆかりの詩人八木重吉を取り上げたステンシルローラーによる絵画制作やストリートピアノ、楽器作りワークショップ等の企画を実施しました。



ライトアップコンサート



ランタンには参加者が描いた桜が咲きました。



[Future Park Lab 2024 Spring 当日の様子]



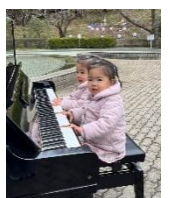
ランタンリリース



防災メシ&焚火



ステンシルローラー



ストリートピアノ



つくってならしておどっちゃおう！



玉川学園 MOKURIN プロジェクト連携

3 市立博物館主催の体験講座の実施について

(仮称) 公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟で実施する工芸体験プログラムを見据えて、2024年1月21日（日）には「オリジナルのマグカップを作ろう！」や2月12日（月・祝）には「ガラスフュージングで小皿を作ろう！」、2月24日（土）には「スタンドグラスでオーナメントを作ろう！」などの体験講座を実施しました。

体験講座「オリジナルのマグカップを作ろう！」



粘土板を作っている様子



板を組み合わせている様子



完成作品の例

体験講座「ガラスフュージングで小皿を作ろう！」



ガラスパーツを選んでいる様子



パーツを並べている様子



完成作品の例

体験講座「スタンドグラスでオーナメントを作ろう！」



ガラスに銅のテープを巻く様子



パーツを接着している様子



完成作品の例

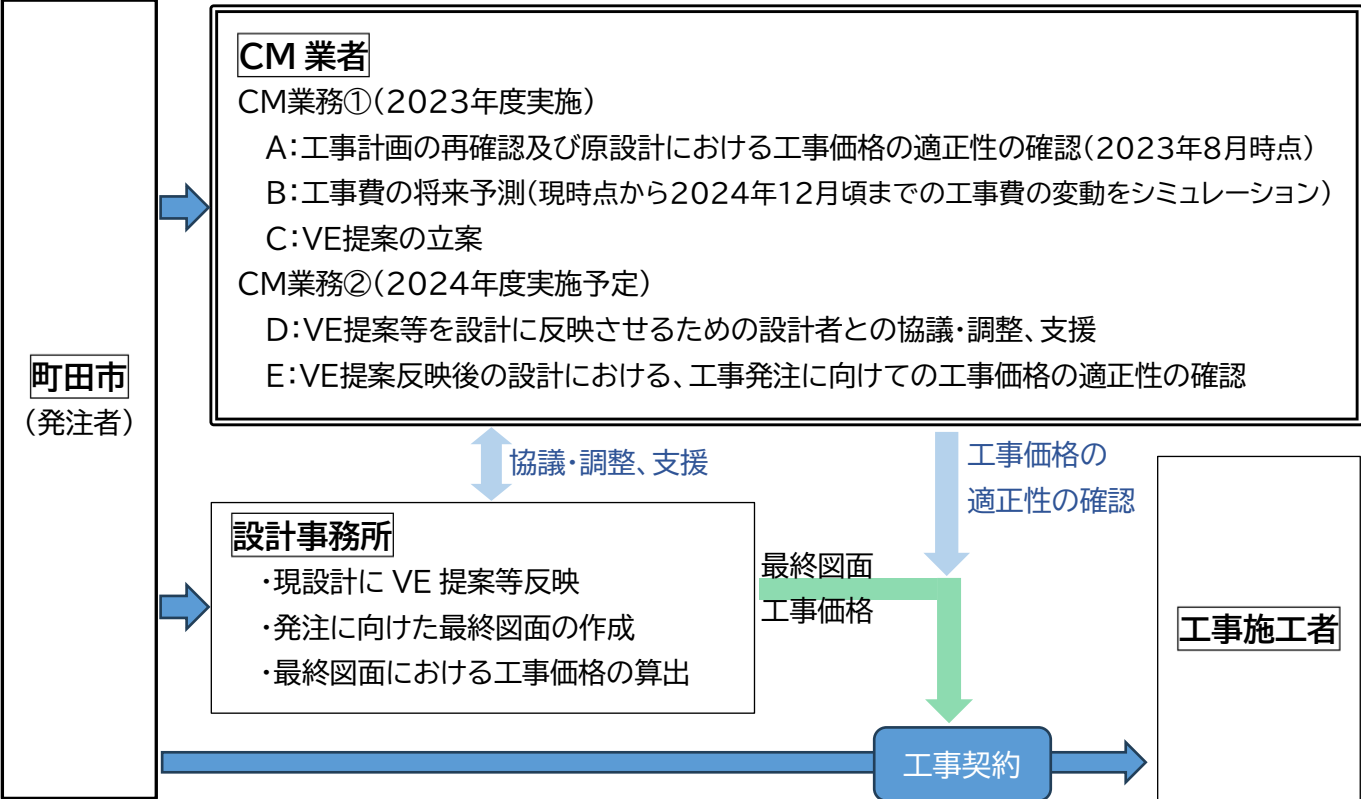
(仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事等における
 コンストラクションマネジメント (CM) 業務の進捗状況について

(仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事におきましては、着実な工事の発注にむけて、設計図書を客観的な視点で検証し、工事費や工期、工法等が適切であるかを評価・見直しをするCMを導入しました。業務の内容及び進捗状況等は次のとおりです。

1 CM業務のスケジュール

業務内容	2023年度				2024年度												2025年度		
	2023年 12月	2024年 1月	2024年 2月	2024年 3月	2024年 4月	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月			
CM業務① (工事計画・ 工事価格確認)	● 契約	← A →	← B →	← C →															
CM業務② (設計業務支援)					● 契約	← D →			← E →										
設計業務 (現設計者によるCM 業務内容反映)					● 契約	← →													
工事契約									● 公告		● 入札			● 本契約 議会承認					

《参考：業務の流れ》



2 2023年度のCM業務の進捗状況等について

A：工事計画の再確認及び原設計における工事価格の適正性の確認

① 工事計画の再確認

工事の仮設計画等を含む設計図書の読み込み、及び近隣住民や公園利用者への影響を併せて確認した結果、概ね適正であるとの報告を受けました。

② 原設計における工事価格の適正性の確認

2023年8月時点の工事費について適正性を確認した結果、図面との整合や積算数量、工事価格等、概ね適正であるとの報告を受けました。

B：工事費の将来予測について

2024年も大手・準大手ゼネコン各社が抱えている工事案件は非常に多い状況ですが、2025年年明けの工事着手であれば、技術者等の確保に期待できるという報告がありました。

そうした状況と物価変動等の動向を踏まえ、2024年12月頃の工事費をシミュレーションした結果、概算工事費約40億円という報告を受けました。

ただし、労務費の上昇や能登半島の震災の影響から、さらなる工事費の上昇の可能性があると報告を受けました。

C：VE^{*}提案の立案（現在進行中の業務）

工事費の削減に向けたVE提案を受け、庁内関係部署及び設計者とVE提案の採用に向けた検討を行っています。

例えば、架台やクレーンの配置変更、擁壁構造の見直し、近隣住民に配慮した工事の仮設計画の見直し等の提案を受けました。

市としては、これらの提案の実現性、有効性を検証し、より良い計画となるよう検討してきます。

※VE (Value Engineering) とは、設計内容を見直し、発注者が求める建物の機能と工事費・工期の観点から費用対効果の向上を図ることをいう。

3 今後の予定

今後のCM業務の予定としては、2023年度のCM業務A・B・Cの結果を踏まえ、以下のD及びEの業務を行う予定です。

D：VE提案等を設計に反映させるための設計者との協議・調整、支援

2023年度に立案したVE提案等を現設計者と協議や調整、支援を行い、現設計者が工事発注に向けた設計図書に適切に反映できるようにします。

E：VE提案反映後の設計における、工事発注に向けての工事価格の適正性の確認

VE提案等を反映した後、最新の工事単価等により積算する工事費について、その適正性の確認を行います。